

8 關連施設・類似施設調査記録

## 8 関連施設・類似施設調査記録

宿泊施設付研修機関、自動車・建設機械関係訓練機関など、以下の関連・類似施設の調査を行った。

- 宿泊施設付研修機関
  - NIE (National Institute of Education) Maharagama - 資料 ①
  - NYC (National Youth Centre) Maharagama
  
- 自動車・建設機械運用サービス機関
  - Machinery & Equipment Authority Kurunegala Branch  
Provincial Council  
North Western Province - 資料 ②
  - NEMO (National Equipment & Machinery Organization)  
Kurunegala Depot  
Dambulla Depot - 資料 ③
  - RCDC (Road Construction Development Co.) Moratuwa
  - DIMO (Diesel & Motor Engineering Co., Ltd.) Colombo
  - SENOK Trade Combine Limited Colombo
  
- 自動車・建設機械訓練機関
  - OTC (Operator Training Centre) Galkulama  
Anuradhapura - 資料 ④
  - CGTTI (Ceylon German Technical Training Institute) Moratuwa - 資料 ⑤
  - AETI (Automobile Engineering Training Institute) Colombo

主な調査概要は以下のとおりである。

資料①

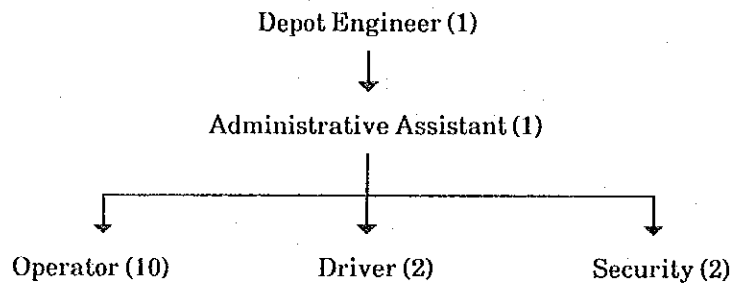
- 調査対象 : NIE (National Institute of Education : 国立教育研修・研究所)
- 面談者 : Mr. P. G. R. C. Piyadasa / Director of Engineering Services
- 調査日 : 1993年10月26日 (火) 16:00 ~ 17:00
- 調査内容 : 研修時における宿泊施設の利用状況
- 調査結果 :
- NIEは教育・高等教育省傘下の機関で教育カリキュラムの研究・開発と、現職教員の研修を行っている。
  - 研修コースはモジュール化され、最短で1日から最長1年まで約130のコースが実施されている。
  - 同時期の 最大研修生数は 430名  
最小研修生数は 100名
  - 研修生の勤務地のコロンボ:地方別割合は、  
平均 1:3  
長期コース(1年)の場合 1:1  
短期コース(3ヶ月未満)の場合 1:4
  - 宿泊施設の収容能力  
ホステル 2人部屋×84室= 168名分  
寮 1人部屋×24室= 24名分  
合計 192名分
  - 研修期間中の宿泊施設利用数は 最大 192名分  
最小 85名分
  - 調査日にも研修が行われており、ホステルでは2人部屋にエキストラベッドを入れ、3人部屋として使用していた。宿泊施設の不足が問題となっており、既存と同規模の施設を増築する予定としている。

資料②

- 調査対象 : Machinery Equipment Authority Kurunegala Branch
- 面談者 : Mr. Herath / Mechanical Engineer
- 調査日 : 1993年10月30日(土) 09:50 ~ 10:20
- 調査内容 : 組織、保有機材運用体制
- 調査結果 : • North Western Province & Provincial Councilに所属する建設機械の地域管理センターである。運用から整備までの一貫サービス体制を有し、オペレーター付で建設機械を派遣している。
- 組織構成
    - Chief 1名
    - Engineer 2名
    - Foreman 1名
    - Operator 107名
    - Mechanic 20名
    - Electrician 3名
    - Welding 2名
    - Tinker 2名
    - Painter 1名
    - Machinist 2名
    - On the Job Trainee 12名
  - 保有構成
    - Crawler Tractor 21台
    - Crawler Loader 3台
    - Motor Grader 6台
    - Wheel Loader 4台
    - Lorry, Tipper, Dump Truck 13台
    - Water Bowser 2台
    - Static Roller 24台
    - Vibrating Roller 5台
    - Farm Tractor & Trailer, Water Bowser 7台
    - Concrete Mixer 5台
    - Road Construction Plant 1台
    - Service Equipment (Mobile Workshop) 3台
    - Jeep 4台

資料③

- 調査対象 : NEMO (National Equipment & Machinery Organization)  
Kurunegala Depot
- 面談者 : Mr. S. M. G. Siriwardanane / Depot Engineer
- 調査日 : 1993年10月30日 (土) 10:30 ~ 10:50
- 調査内容 : 組織、保有機材、運用体制
- 調査結果 :
  - 自国予算で20億円相当の建設機械を購入し、国内各地に設立した30ヶ所以上のNEMO Depotに配備し、官・民セクターにリースしている。
  - MEMO Depot 全体の職員数は約600名
  - MEMO Depotの標準的構成

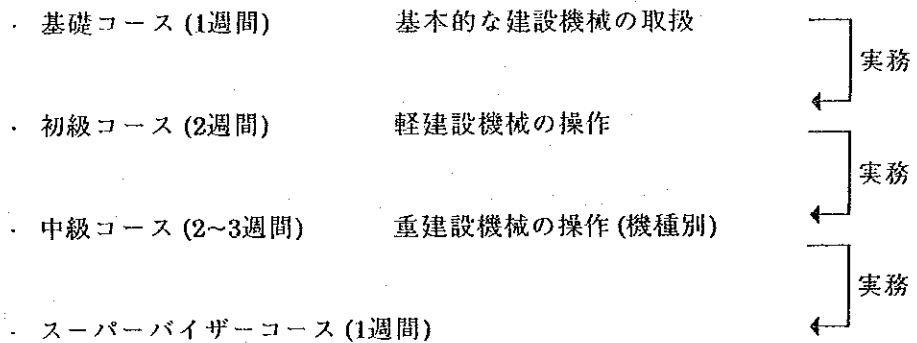


- 現在は車輛が新しいため、各DepotにMechanicは置いていないが、将来は各Depotに2~3名のMechanicが必要と考えられている。
- Kurunegala Depotの保有機材
  - 1) Dozer CT-09×1台、CT-27×1台
  - 2) 17t Truck LR-72×1台
  - 3) Grader MG-05×1台
  - 4) Loader LB-21×1台
  - 5) T. Roller VR-61×1台
  - 6) P. Roller VR-28×1台
  - 7) Tractor WT-56×1台、WT-57×1台
  - 8) Bowser WB-14×1台
  - 9) Crusher SC-37×1台
- 全てのDepotは所有車輛、職員等、基本的に同じ構成である。

資料④

調査対象 : OTC (Operator Training Centre)  
 面談者 : Mr. A. P. Samarasekara / Assistant Director  
 調査日 : 1993年10月30日 (土) 13:30 ~ 16:45  
 調査内容 : 組織、訓練内容、宿泊施設  
 調査結果 :

- ICTAD傘下に1982年に設立され、建設機械のオペレーターの訓練を中心に実績を上げている。メカニクの訓練を中心とするCETRACとは対をなす兄弟機関であり、CETRACの運営にもOTCのノウハウが活かされるものと思われる。
- トレーニングは建設セクターの現職の人材を主な対象とし、訓練コースはモジュール化され、訓練生が現職のまま長期間職場を離れることなく段階的に人材の能力を高めて行くように計画されている。
- 基本的なトレーニングの流れは、



- 主な訓練対象重建設機械  
 Loader, Dozer, Motor Grader, Excavator, Dump Truck, Crawler Crane, Scraper, Mobile Crane, Plant Transporter
- スーパーバイザー/マネージャーコースでは、過去7年間に約180名の研修を行っているが、遠隔地のため受講をしぶる者も多い。
- 宿泊施設の利用状況  
 遠隔地のため、訓練期間中はほぼ全員が宿泊施設を利用している。  
 平均利用者数は、研修生約70名(初級50名、中級20名)、職員約60名であり、エキストラベットで収容者数を調整している。

資料⑤

- 調査対象 : CGTTI (Ceylon German Technical Training Institute)
- 面談者 : Mr. Sarath Ilukkumbure / Deputy Director
- 調査日 : 1993年11月02日 (火) 09:20 ~ 11:30
- 調査内容 : 組織、訓練内容、宿泊施設
- 調査結果 :
- Transport Board 下にドイツの援助で設立された。
  - トラック、バス等大型車輛のメカニクスの養成機関である。
  - 全日制、定時制のコースがあり、全日制コースの総訓練生数は約900名、内600名がセンター内で訓練を受け、300名がセンター外のワークショップでOn the Job Trainingを行っている。
  - 全日制コースの入学者数は260名/年である。出願者数は毎年4,000名近く、試験により選抜される。受験資格はG. C. E. OL+Mathematics, National Languageである。
  - 全日制主要7コースは以下のとおり。

1) Automobile	4年制
2) Millwright	4年制
3) Tool Machinist	3 1/2年制
4) Power Electrician	3 1/2年制
5) Auto Electrician	3年制
6) Diesel Mechanics	3年制
7) Welder	3年制
  - 全日制コースの基本教程は以下のとおり。

1年目 : 前半6ヶ月 - General Workshop Practice

全員同時にワークショップの基礎訓練を行う。

後半6ヶ月 - Rotational Training

全員を4つのグループに分け、Fitting, Tool Machinery, Basic Electricity, Weldingの4コース全てを1.5ヶ月づつ訓練する。

1年目は上記4分野の基礎訓練を通して、メカニクに必要な基礎知識を身につけると同時に、個々の訓練生に適した専門分野を判断し、2年目以降のコース選択を行う。

各訓練生は希望する専門コースを第3志望まで提出し、1年目の成績によって振り分けられる。

2年目 : 1年間の技術訓練 (Trade Training)

3年目 : コロンボ近郊の官・民作業所(Workshop)での On the Job Training (実習訓練)

週4日を On the Job Training にあて、1日はセンターに戻って座学を行う。

4年目 : センター内でより高度な技術訓練を行う。

- センターの運営費は、1,700,000 ルピー/月である。  
このうち800,000 ルピー/月が自身の収益事業による。
- 全日コース訓練生の65%は地方出身者である。  
宿泊施設は設けていないが、バス通学者には片道30マイル分の無料バスを支給し、援助している。
- 教官：訓練生比率は1:30である。











JICA